

名画で楽しむギリシア神話(17)

テセウスとアリアドネ ③

アテナイからの貢ぎ物を積んだ黒い帆の船はクレタ島の港に着いた。生け贄とされる青年男女は、ミノス王の宮殿に連行された。彼らの先頭に立ったテセウスは、アテナイの王子として残酷な身御供は止めるようにと進言したが、クレタ島の王は「お前もミノタウロス(図1)の餌食となれ」と、全く耳を貸さずともせずに、彼を監禁した。テセウスは牛頭人身の人食い怪物との格闘を怖れてはいなかったが、一度入ったら脱出は不可能だという大迷宮ラビリンスの謎には思い悩んでいた。

半ひそかに牢獄のテセウスの許に忍び込み、彼の愛が得られるならば、父母をも裏切つて、異父兄のミノタウロスを殺すことに協力しようと申し出た。必ず妻として一緒に帰国すると約束させたアリアドネは、迷宮を設計した天才工匠ダイダロスを訪れて、その構造と脱出法を聞き出した。すなわち、赤い麻糸の玉を持って入り、一端を入り口の近くに結び付けて糸を伸ばしながら進むのだ。帰途はその糸を辿れば脱出できるといっわけである。

「自分の妃にするから譲れ」という神の命令には、豪勇無双の英雄ではあつてもモーター(死す)に一目ぼれしてしまったのである。(笠原 浩)

美しい王女から与えられた糸玉と短剣を隠し持ったテセウスは、自ら最初の犠牲となることを志願してラビリンスに入つていった。(図2、3)

美しき王女から与えられた糸玉と短剣を隠し持ったテセウスは、自ら最初の犠牲となることを志願してラビリンスに入つていった。(図2、3)

美しき王女から与えられた糸玉と短剣を隠し持ったテセウスは、自ら最初の犠牲となることを志願してラビリンスに入つていった。(図2、3)

美しき王女から与えられた糸玉と短剣を隠し持ったテセウスは、自ら最初の犠牲となることを志願してラビリンスに入つていった。(図2、3)

美しき王女から与えられた糸玉と短剣を隠し持ったテセウスは、自ら最初の犠牲となることを志願してラビリンスに入つていった。(図2、3)

美しき王女から与えられた糸玉と短剣を隠し持ったテセウスは、自ら最初の犠牲となることを志願してラビリンスに入つていった。(図2、3)

美しき王女から与えられた糸玉と短剣を隠し持ったテセウスは、自ら最初の犠牲となることを志願してラビリンスに入つていった。(図2、3)

美しき王女から与えられた糸玉と短剣を隠し持ったテセウスは、自ら最初の犠牲となることを志願してラビリンスに入つていった。(図2、3)

夢はオリンピックで活躍！ 「スポーツ能力測定会 in 長野」を本学で開催



バランス力やジャンプ力を測定する子どもたち

7月22日(日)、本学体育館において日本航空株式会社(JAL)と長野県競技力向上対策本部が主催する「スポーツ能力測定会 in 長野」が開催された。専用の測定機器を使用したス

スポーツ能力測定会を実施し、子どもたち一人ひとりの特性に合ったスポーツに出合えるようアドバイスを行うとともに、オリンピックメダル候補選手と将来一流のアスリートに育つ可能性

の高い人材を早期発掘し、子どもたちに夢を持って取り組むすばらしさを伝えることが目的。当日は、対象となる小学4〜6年生約400人が参加し、10メートルスプリント、敏捷性、ジャンプ力、リカバリーバランス、反応ステップ、スイングスピードの6項目の測定が実施された。その測定結果を分析して、個人の長所・短所を明確にし、64種類の競技の中から、その子の特徴を生かせるスポーツやトレーニング方法のアドバイスが行われた。

また、当日の測定結果を基に今後さらなる持久系能力テストやメデイカルチェック等を経て選抜された小学生は、「キラキラー」子育成プロジェクトの第一期生として、専門的指導者によるさまざまな育成プログラムを受け、将来、国体などの国内

トップレベルの大会や国際大会、オリンピックで活躍できるアスリートを目指す。本学は、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けて、「キラキラー」子育成プロジェクトに協力していく。

歯学部学生が優秀発表賞を受賞 第86回松本歯科大学学会 6月30日(土)、講義館において第86回松本歯科大学学会(総会)が開催された。例年の総会よりやや少なめの、一般講演4演題の発表があり、和やかな雰囲気の中で真摯で活発な質疑応答が行われた。

歯学部4学年の中田智君、大毛翔吾君、第3学年の植野裕司君、浮田英彦君、高坂怜子さんらによる口腔細菌学講座との共同研究における Gemella 属と



図3 Edward Burne-Jones: 大迷宮ラビリンスの中のテセウス



図4 ミノタウロスを仕留めるテセウス (ルーブル美術館)



図1 ミノタウロス



図2 Jean-Baptiste Regnault: テセウスに糸玉と短剣を与えるアリアドネ

第4回松本歯科大学眼科セミナー 第24回長野県眼科学術講演会 60人が参加し活発な意見交換



講演する太田教授

7月1日(日)、松本市のホテルエナピスタにおいて、第4回松本歯科大学眼科セミナーおよび第24回長野県眼科学術講演会(参天製薬主催)が行われた。まず、毛塚眼科医・東京医科大学眼科兼任教授の毛塚剛司先生が「視神経炎の鑑別と治療」と題して講演された。毛塚先生は、視神経炎の検査所見・臨床経過・治療について述べられ、視神経炎と関連の深い自己抗体や、ステロイド・免疫抑制剤を用いた治療、血漿交換療法などについても詳細な解説がなされた。

最後に、名古屋市立大学医学部眼科の吉田宗徳臨床教授が「網膜静脈分枝閉塞症―早期治療の意義と病診連携の取り組み―」と題して講演された。吉田教授は、網膜静脈分枝閉塞症の治療の変遷について述べられ、現在では早期治療が重要となっていると力説された。また、病診連携の試みについても述べられた。遠方からの紹介も多く、近隣の診療所で定期検査を依頼しているが、その際の再紹介基準などが示された。

次に、本学眼科の太田浩一教授が「黄斑円孔のエトセトラ―10年間の硝子体手術から―」と題して講演された。太田教授は、

「網膜静脈分枝閉塞症―早期治療の意義と病診連携の取り組み―」と題して講演された。吉田教授は、網膜静脈分枝閉塞症の治療の変遷について述べられ、現在では早期治療が重要となっていると力説された。また、病診連携の試みについても述べられた。遠方からの紹介も多く、近隣の診療所で定期検査を依頼しているが、その際の再紹介基準などが示された。



左から高坂さん、浮田君、植野君、中田君、大毛君

歯学部4学年の中田智君、大毛翔吾君、第3学年の植野裕司君、浮田英彦君、高坂怜子さんらによる口腔細菌学講座との共同研究における Gemella 属と

MTBペタリング 随想記



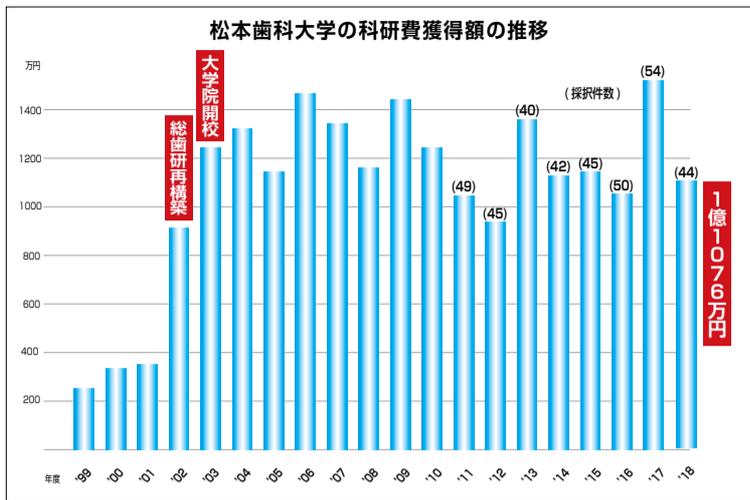
元JFD一五輪日本代表 鈴木 雷太

記録的な暑さが続いている。早朝は清々しいが9時を過ぎれば太陽の日が強い。夕方息子と夕暮れを眺めながら川へ出てみた。ひんやりとして透明な小川をさかのぼる。何か捕れるかなと軽い気持ちで川岸をザクザクと探ってみると、川エビが捕れた。初体験の息子は大喜びで、ザブザブと探りながら進む。 沢蟹、蛙、カワニナ、モツゴなども網にかかった。さてこれらをどうするか？息子の答えは決まっている。「飼いたい」のだ。世話することを条件に持ち帰り、水槽で飼育を始めた。水を定期的に変え、それぞれに餌をやらなければならぬのだが、4歳児がひとりやるのは難しいので一緒に世話をする。 蛙のために庭でコオロギを捕まえて水槽に入れてみるが変化なし。次に蜘蛛を入ると、さっきまでいたコオロギが一匹もいない！そうしていると蛙が蜘蛛をバクッと食べた。

ある朝駐車場でセミが羽化していた。息子と観察していたが、抜け殻から出られず、羽が半分シワクチャで前足も出てこない。息子にこのセミがおそろく死んでしまうことを説明すると意外と反応は無いというか普通だった。夜はクワガタを探しに真っ暗闇の森の中へ、懐中電灯をもって大冒険だ。

エアコンの利いた部屋でテレビゲームもいいが、川遊びや昆虫採集など、夏だからこそ、子どもだからこそできる今を満喫してもらいたい。子どもとの有意義な時間を過ごして満足している自分に気がつき、暑さを感じる自分充実した夏となった。

2018年度 科学研究費配分が決定 獲得額 6年連続で年間1億円を突破



このたび、文部科学省および日本学術振興会は、「2018年度科学研究費補助金(科研費)」の交付内定を発表した。本学の総額は1億1千万円を超える額となり、6年連続で1億円を突破した。

「科研費」は、研究者の自由な発想に基づく研究の多様性を確保し、国際的に評価の高い研究を推進するためのわが国最大の競争的研究資金である。近年、財政事情の厳しさの下、その規模は頭打ちとなる一方、応募件数は10万件と増加し、全体の採択率は25%と低下してきている。

「科研費」は、研究計画書の提出による複数段階における厳格な審査(ピアレビュー)を経て交付決定される。「基盤研究」を中心として、「若手研究」「挑戦的研究」などの研究種目が設定されている。質の高い研究活動を行うためには、優れた研究者と共に充実した研究施設と研究資金が必要である。従って、研究者にとっては、「科研費」の重要性は極めて大きく、採択

件数と補助金額は研究者の実績や大学の研究活動の評価のバロメーターとなっている。今回の交付決定は、継続研究も含めて、基盤研究(A)1件、基盤研究(B)8件、基盤研究(C)23件、挑戦的研究5件、若手研究6件および国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)1件の総計44件である。2018年度に配分される直接経費と

学生がものづくりを通して歯科をPR

2018まつもと広域ものづくりフェア

第1学年から第3学年の学生有志は、7月14日(土)、15日(日)の両日、松本市で開催された「まつもと広域ものづくりフェア」にボランティア参加した。本学ブースにおいて歯科材料を使った手指模型の製作を行い、来場者を楽しませた。

安曇野市の商工団体が中心となり、将来を担う小・中学生を対象に「学びたい!知りたいたい!」をテーマに開催するイベント。企業や教育機関などが約40種の体験ブースを並べた。



印象材で、来場者の指型を採る学生たち

間接経費の総額は1億1千万円を超える額となり、6年連続で1億円を突破した。昨年度から新設された挑戦的研究(開拓)は、採択率10%という厳しい競争であるが、小林泰浩教授(本学総合歯科医学研究所)による申請課題が、初めて採択(直接経費総額2千万円)された。

さらに、文部科学省が2016年度に新設した「私立大学研究ブランディング事業」に対し、本学からは「先端硬組織科学研究の拠点形成と高度歯科医師育成への展開」というタイトルにて、この7月に応募申請を行った。本研究の将来ビジョンは、「建学の理念に基づき、豊かな教養と高い人格を備えた有為な歯科医師の育成を確固たるものにする」である。本学の申請は、

タイプB(世界展開型)であり、学長のリーダーシップの下で、先端的・学際的な研究拠点を整備・強化することを目的としている。大学における基礎および臨床研究の発展は、学生教育の質的な向上に連結する。今後も、本学におけるますますの研究・教育・診療の発展を期待したい。

(歯学部 学部長 宇田川信之、口腔生化学講座 教授 宇田川信之)

韓国で進学説明会を開催 多数の参加者から 教育体制について熱心に質問

6月16日(土)、韓国ソウル特別市において本学進学説明会が開催され、本学の歯学部や歯科衛生士学科に興味がある学生や保護者14組22人が訪れた。今回の相談会は、近年の韓国留学生の増加に対応して企画され、一日体験入学に参加できない学生らに本学の魅力を分かち合おう機会として行われた。

説明会では、中村浩彰教務部長が本学の概要や歯学部の現状、カリキュラムの内容などをスライドを使い分かりやすく説明し、岡藤範正教授が衛生学院の概要や現状、歯科衛生士の魅力などを詳しく説明した。

参加者からは、入試の内容や勉強方法、入学後の学習方法、ウィークリーテスト、進級要件や留年率などについて具体的な質問が出され、両教授は一つ一つ丁寧に答えていた。



中村教務部長から概要説明を聞く参加者

病院だより vol.2

シリーズ期待のホープ① 耳鼻いんこう科 ST (言語聴覚士) 田村 匠さん

今年、新潟リハビリテーション大学を卒業し、当院耳鼻いんこう科に入職した田村匠さんに今回はインタビューしてみました。



Q1 当院に入職しようと思ったきっかけは?

A1 長野県内で聴覚のリハビリ

Q2 現在の業務内容は?

A2 音声障害のリハビリや補聴器の調整を担当しています。毎週月曜PM、水曜AM、木曜PMで、補聴器外来を予約に行っています。

Q3 音声障害のリハビリはどのようなことを行っていますか?

A3 声の大きさや高さの異常、吃音、嗄声の検査や指導を

Q4 補聴器外来ではどのようなことを行っていますか?

A4 患者様の今の聴こえについて説明を行い、その方の聴こえに合わせて、毎週適合検査の結果とその方の意見を踏まえ、補聴器を調整しています。本場にその人に合ったものを作るには1~3カ月の期間が必要ですが、なぜかという音を聴いていなかった間があるため、脳のリハビリの期間が必要なんです。初めは7割ぐらいの音から目標の音に調整していきます。この間、

Q5 補聴器のこと、もっと教えていただけませんか?

A5 補聴器には耳掛けタイプや、耳の中に入れるコンパクトなカナルタイプ、箱型で胸ポケットに入れイヤホンを使用するボックスタイプと、様々なタイプがあります。補聴器は保険適用になりませんが、金額は片耳10万円、両耳20万円ぐらいのものから、高いものでは両耳100万円ぐらいのものもあります。メーカーによっては両耳セットだと割引があるものもあります。高価なものは補聴器の調整がしやすかったりデザインに優れているという点はありますが、金額の差で聴こえというものは体には差はありません。興味があればぜひ一度、私のところへお越し下さい。

Q1 当院に入職しようと思ったきっかけは?

A1 長野県内で聴覚のリハビリ

リを行っている施設は少ないのですが、ネットで検索していたら、松本歯科大学病院でSTを募集という情報がヒットし、見学に来たところ、耳鼻いんこう科医師の相馬先生の熱意に心打たれ、今回の入職となりました。

Q2 現在の業務内容は?

A2 音声障害のリハビリや補聴器の調整を担当しています。毎週月曜PM、水曜AM、木曜PMで、補聴器外来を予約に行っています。

Q3 音声障害のリハビリはどのようなことを行っていますか?

A3 声の大きさや高さの異常、吃音、嗄声の検査や指導を

Q4 補聴器外来ではどのようなことを行っていますか?

A4 患者様の今の聴こえについて説明を行い、その方の聴こえに合わせて、毎週適合検査の結果とその方の意見を踏まえ、補聴器を調整しています。本場にその人に合ったものを作るには1~3カ月の期間が必要ですが、なぜかという音を聴いていなかった間があるため、脳のリハビリの期間が必要なんです。初めは7割ぐらいの音から目標の音に調整していきます。この間、

Q5 補聴器のこと、もっと教えていただけませんか?

A5 補聴器には耳掛けタイプや、耳の中に入れるコンパクトなカナルタイプ、箱型で胸ポケットに入れイヤホンを使用するボックスタイプと、様々なタイプがあります。補聴器は保険適用になりませんが、金額は片耳10万円、両耳20万円ぐらいのものから、高いものでは両耳100万円ぐらいのものもあります。メーカーによっては両耳セットだと割引があるものもあります。高価なものは補聴器の調整がしやすかったりデザインに優れているという点はありますが、金額の差で聴こえというものは体には差はありません。興味があればぜひ一度、私のところへお越し下さい。

Q1 当院に入職しようと思ったきっかけは?

A1 長野県内で聴覚のリハビリ

Q2 現在の業務内容は?

A2 音声障害のリハビリや補聴器の調整を担当しています。毎週月曜PM、水曜AM、木曜PMで、補聴器外来を予約に行っています。

北九州市開業 8期生・木村英生先生を迎えて病院講演会 貴重な症例を提示し根管治療について解説

6月29日(金)、本館601教室において松本歯科大学病院総合口腔診療部門主催による講演会が開催されました。

講師に総合口腔診療部門診療教授で、福岡県北九州市におき

まして木村歯科医院を開院されている本学8期生の木村英生先生をお招きして行われました。

木村先生は、①物理的・解剖学的制約が大きいこと、②ミクロの対象物にマクロ的手法で対峙していること、③盲目的操作に頼らざるを得ないこと、④治療の各ステップが達成されたという確認を得ることなく進めざるを得ないこと、⑤治療結果の判定基準が不明確で術者の主観で判定してきていること、⑥項目が歯内治療を困難にしている根源であると述べられ、これらの障壁を乗り越えて如何にしたら難症例を成功に導けるか、また、根管治療回数を減らせるかといった点について、先生のこれまでの貴重な数多くの症例を提示いただきながら講演されました。



質問に答える木村先生

歯内療法原則はもろろんのこと、一開業医として現実論としてのお話を伺うこともでき、また開業当時から今日に至るまで長期にわたって経過を診られている多くの症例をみて、受講された先生方は皆感銘を受けておりました。

(病院総合口腔診療部門 教授 山本昭太)

Alumni News 松本歯科大学校友会

広島県支部 支部総会・学術講演会並びに 岡田芳幸先生の広島大学教授就任を祝う会



笠原特任教授(前列中央)、岡田先生(右隣)を囲む広島県支部会員

5月27日(日)、広島市東区の広島県歯科医師会2階の口腔保健センター研修室において広島県支部の定期総会を開催した。光山素夫理事(29期生)の司会のもと、筆者・松山多男支部長(8期生)のあいさつの後、事業報告、事業計画を審議した。総会終了後、本学特任教授の笠原浩先生を講師にお迎えし、

「認知症患者の歯科治療」という演題で、ご講演していただいた。講演内容は、認知症に限らず、人生経験を重ねてこられた高齢者の方々の尊厳に配慮しつつ、いかに説明するか、診療にあたるかということに主眼を置き、丁寧に分かりやすく解説された。また、演題に採られることなく、臨床の見地から、小児の臨床の

手解き、BP製剤、抗凝固薬を使用している患者の外科処置時の対応など、重要と思われることを幅広くご教授いただいた。笠原教授には支部会員が小児歯科学もしくは障がい者歯科学でのご指導を賜わっており、先生のご尊顔を拝するとすでに遠い昔となった学生時代を思い出し、とても懐かしい思いとともに1時間におよぶ講演を聴講した。早速、明日からの診療に生かしていく所存である。 つづいて、北海道大学を卒業後本学障がい者歯科学講座で研鑽をつまれた岡田芳幸先生が広島大学教授に就任されたのを祝う会を、場所をホテルグランヴィア広島に移動して開催した。 松山支部長と岡田先生にとっても恩師である笠原教授がお祝いの言葉を述べられ、和氣藹々とした雰囲気の中で祝賀会は行われ、赤木真一副支部長(4期生)のあいさつで閉会した。(広島県支部 8期生 松山多男)

歯学体が開幕 12部門に参加し 熱き戦い始まる

第50回全日本歯科学生総合体育大会夏期部門は、神奈川県川崎市にある神奈川歯科大学の事務主管により7月30日(月)から8月10日(金)までの日程で開催される。夏期種目23部門のうち水泳部門は本学が主管する。本学からエントリーするのは硬式野球、剣道、ゴルフ、弓道、水泳、陸上競技などの12部門。

第50回全日本歯科学生総合体育大会夏期部門日程(本学が出場する部門のみ掲載)

Table with columns for Department Name, Date, and Venue. Includes events like Softball, Baseball, Soccer, Golf, Badminton, Basketball, etc.

(開会式: 7月30日(月)、閉会式: 8月10日(金)) ●:試合日、▲:練習日、予備日

岩手医科大学・原田英光先生が講演 「エナメル芽細胞の分化と極性の制御機構、その破綻と歯科疾患について」

7月13日(金)、総合歯科医学研究所セミナールームにおいて岩手医科大学解剖学講座発 生生物・再生医学分野教授 原田英光先生を講師としてお迎えし、「エナメル芽細胞の分化と極性の制御機構、その破綻と歯科疾患について」という演題で

7月13日(金)、総合歯科医学研究所セミナールームにおいて岩手医科大学解剖学講座発生生物・再生医学分野教授 原田英光先生を講師としてお迎えし、「エナメル芽細胞の分化と極性の制御機構、その破綻と歯科疾患について」という演題で

Enamelが重要な働きをしていることを報告された。 2006年に岩手医科大学に教授として赴任され、歯の発生と再生研究でトップを走っている。 エナメル質形成は、外胚葉系上皮細胞であるエナメル芽細胞が担っており、間葉系細胞である骨芽細胞の骨形成とは全く異なる機構によって行われるが、

小児歯科学講座・森山敬助教

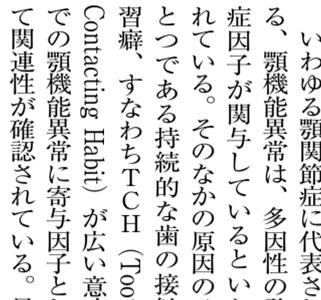
小児歯科学講座の森山敬助教は、松本市の長野朝鮮中級学校からの依頼を受け、6月22日(金)、初級部低学年の児童および附属幼稚園の園児あわせて22人を対象に同校において歯科指導を行った。

「しょう」と呼びかけると、児童らは手をあげて大きな声で返事をした。 また、歯磨きの練習では、歯の模型を用いて正しい歯磨き方法を指導し、児童らは説明を聞きながら普段使っている歯ブラシで実際に歯を磨いた。



森山助教の呼びかけに手をあげて応える児童

6月9日(土)、大津市のコラボしが21にて滋賀県支部校友会総会並びに学術講演会が開催されました。 総会では、角田和芳支部会長(6期生)より「挨拶をいただき、大学の近況報告がありました。その中で今回をもって支部長の職を退任される旨のお話があり、新たに宮澤英二先生(7期生)が推薦され、新支部長として承認されました。 宮澤新支部長より、今後の抱負をお話しし、



倉澤教授の講演を聴く参加者

「TCH(歯列接触癖)について考える」 学術講演会では、本学大学院歯学独立研究科・顎口腔機能制御学講座教授の倉澤郁文先生(1期生)より「TCH(歯列接触癖)について考える」と題してご講演いただきました。 いわゆる顎関節症に代表される、顎機能異常は、多因性の発症因子が関与しているといわれている。そのなかの原因のひとつである持続的な歯の接触習癖、すなわちTCH(Tooth Contacting Habit)が広い意味での顎機能異常に寄与因子として関連性が確認されている。最

40期生の日置崇史先生が7月24日(火)、ご逝去されました。 日置先生は在学中、2016年度卒業準備委員会委員長として活躍されました。 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。 四十九日法要は、9月9日(日)11時より大阪府豊中市の如来寺にて行われます。詳細は校友会事務局(☎0263-54-1432)までお問い合わせください。

7月13日(金)、総合歯科医学研究所セミナールームにおいて岩手医科大学解剖学講座発生生物・再生医学分野教授 原田英光先生を講師としてお迎えし、「エナメル芽細胞の分化と極性の制御機構、その破綻と歯科疾患について」という演題で

2006年に岩手医科大学に教授として赴任され、歯の発生と再生研究でトップを走っている。 エナメル質形成は、外胚葉系上皮細胞であるエナメル芽細胞が担っており、間葉系細胞である骨芽細胞の骨形成とは全く異なる機構によって行われるが、

Economic News table with columns for Item, Price, and Change. Includes Japanese Yen, US Dollar, and Gold prices.

人事異動 昇任 6月1日 長瀬 昭子 (歯科衛生学専攻衛生学1) 退職 6月15日 手塚 弘貴 (診療助手 常勤職員) (定年退職) 6月24日 山岸 和男 (事務管理課 契約職員) (採用) 6月25日 山岸 和男 (事務管理課 契約職員) 野本 亨嗣 (事務管理課 契約職員) 三石紫緒里 (事務管理課 契約職員) (契約満了) 6月30日 山田 紗織 (研修科 准教授) 下林明日香 (事務管理課 契約職員) 森山助教の呼びかけに手をあげて応える児童

8月行事予定 7月30日(月)・10日(金) 第50回全日本歯科学生総合体育大会夏期部門 1日(水)・16日(木) 夏季休業 (大学院) 1日(水)・19日(日) 夏季休業 (第4学年) 2日(木) 一日体験入学 (歯学部) 5日(日) 一日体験入学 (歯学部) 17日(金) 一日歯科衛生士体験 (歯学部3年生) 20日(月) 後期授業開始 (第4学年) 25日(土)・26日(日) 一日体験入学 (歯学部) 29日(水) 大学院発表会 29日(水)・9月6日(木) 定期試験(第1・3学年)

AO入試(1期) 試験日 9月8日(土) 出願期間 8月27日(月)~9月5日(水) 一日体験入学 ①8月25日(木) ②8月5日(日) ③8月26日(土) ④8月26日(日) ※8月開催のみ掲載 開催時間 9:45~15:00 (受付9:15~) ●キャンパスツアー ●ランチ体験 ●模擬実習 ●入試説明・進学相談 など ※参加希望の方は、本学ホームページまたは下記までご連絡ください。 ■お問い合わせ■ HOT LINE 0263-54-3210 松本歯科大学 入試広報室 www.mdu.ac.jp